



平成31年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月11日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2292 URL http://www.sfoods.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 湯浅 庸介 (TEL) 0798(43)1065
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	251,171	7.5	8,345	0.5	8,746	0.6	5,619	△4.1
30年2月期第3四半期	233,633	12.7	8,304	10.0	8,697	10.2	5,862	28.7

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 3,082百万円(△81.0%) 30年2月期第3四半期 16,228百万円(139.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	177.45	—
30年2月期第3四半期	192.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第3四半期	174,707	87,932	46.9
30年2月期	156,649	86,552	51.6

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 81,976百万円 30年2月期 80,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	19.00	—	24.00	43.00
31年2月期	—	28.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	10.6	12,000	9.5	12,500	8.9	8,200	5.7	258.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期3Q	32,267,721株	30年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	31年2月期3Q	600,962株	30年2月期	603,248株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期3Q	31,665,866株	30年2月期3Q	30,504,687株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参考ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、夏から秋にかけての天候不順や災害の発生及び原油高によるコスト高により全般的に低調に推移しました。ただ、期間後半にはインバウンド需要の回復や復興需要などにより持ち直しの兆しが見られました。当食肉業界におきましては、上述の天候不順や災害の影響による消費意欲減退及び人件費の高騰による収益性の悪化と競争激化に苦しみました。

このような経営環境のもと、当社グループは、かねてから食肉の生産から小売・外食までの食肉事業の垂直統合を推進しており、それぞれの事業の内容を充実させ事業間の関係を緊密にすることにより、経営体質の強化と安定的な成長を目指してまいりました。

食肉等の製造・卸売事業においては、当社グループの中核事業として、継続的・戦略的に事業拡大と効率的経営を進めております。特に食肉の生産事業は競争力の源泉として位置づけていることから、事業の安定的成長と更なる拡張を目指して経営に当たりました。食肉加工品においては、定番アイテム「こてっちゃん牛もつ鍋」シリーズに加え「レンジで一皿」シリーズや「下ごしらえ」シリーズなどのラインアップで秋冬シーズンの強化に努めてまいりました。

食肉等の小売事業においては、イベント型の提案販売や、レイアウト再構築等の既存店活性化を継続実施した他、従業員の知識及び技術の向上により、商品及び接客レベルの向上を目指すため、肉のマイスター制度をさらに浸透させてまいりました。また、既存店の改装や不採算店の閉鎖、新規ディベロッパーとの取り組みによる新店開発や、新業態での新規出店等、各種施策を推進してまいりました。

食肉等の外食事業においては、ステーキレストランチェーン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業において、メニューの考案や不採算店対策及び共同の大型店開発等、競争力向上のための施策を実施してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,511億7千1百万円（前年同四半期比7.5%増）、営業利益83億4千5百万円（前年同四半期比0.5%増）、経常利益87億4千6百万円（前年同四半期比0.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益56億1千9百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

①食肉等の製造・卸売事業

売上高は2,280億6千6百万円（前年同四半期比8.6%増）、セグメント利益は80億1千5百万円（前年同四半期比1.9%増）となりました。

②食肉等の小売事業

売上高は162億5千5百万円（前年同四半期比3.9%減）、セグメント利益は8億1千6百万円（前年同四半期比1.7%減）となりました。

③食肉等の外食事業

売上高は58億2千6百万円（前年同四半期比3.1%増）、セグメント利益は2億5千8百万円（前年同四半期比28.2%減）となりました。

④その他

売上高は10億2千2百万円（前年同四半期比5.1%増）、セグメント利益は9千1百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて180億5千8百万円増加し、1,747億7百万円となりました。これは主に、保有株式の時価の下落による投資有価証券の減少の一方で、売上高増加に伴う売上債権、たな卸資産の増加、設備投資に伴う土地・建設仮勘定の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて166億7千8百万円増加し、867億7千5百万円となりました。これは主に、繰延税金負債の減少の一方で、売上高増加に伴う仕入債務の増加及び借入金増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて13億8千万円増加し、879億3千2百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少の一方で、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期通期の業績予想につきましては、平成30年4月13日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,328	36,711
受取手形及び売掛金	31,243	36,940
商品及び製品	16,230	22,072
仕掛品	970	1,001
原材料及び貯蔵品	2,648	4,063
その他	4,024	3,752
貸倒引当金	△162	△152
流動資産合計	91,283	104,389
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,296	37,467
減価償却累計額	△22,184	△22,858
建物及び構築物（純額）	14,112	14,609
土地	14,204	16,969
その他	28,479	33,994
減価償却累計額	△19,729	△20,699
その他（純額）	8,749	13,294
減損損失累計額	△1,690	△1,622
有形固定資産合計	35,375	43,250
無形固定資産		
のれん	174	255
その他	387	364
無形固定資産合計	561	619
投資その他の資産		
投資有価証券	26,107	23,250
退職給付に係る資産	311	306
その他	3,206	3,127
貸倒引当金	△196	△237
投資その他の資産合計	29,428	26,447
固定資産合計	65,366	70,317
資産合計	156,649	174,707

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,648	32,730
短期借入金	8,010	9,640
未払法人税等	1,743	1,038
賞与引当金	915	1,503
その他	9,607	10,021
流動負債合計	43,924	54,934
固定負債		
社債	850	1,250
長期借入金	15,723	22,360
役員退職慰労引当金	328	202
退職給付に係る負債	2,058	2,143
その他	7,211	5,884
固定負債合計	26,172	31,840
負債合計	70,096	86,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	18,675	18,691
利益剰余金	44,588	48,560
自己株式	△423	△421
株主資本合計	67,138	71,129
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,224	10,326
繰延ヘッジ損益	△10	2
為替換算調整勘定	437	515
退職給付に係る調整累計額	12	1
その他の包括利益累計額合計	13,664	10,846
非支配株主持分	5,749	5,956
純資産合計	86,552	87,932
負債純資産合計	156,649	174,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	233,633	251,171
売上原価	199,139	215,445
売上総利益	34,494	35,726
販売費及び一般管理費	26,189	27,381
営業利益	8,304	8,345
営業外収益		
受取利息	33	42
受取家賃	98	112
受取配当金	243	310
その他	290	300
営業外収益合計	666	765
営業外費用		
支払利息	148	161
為替差損	9	92
賃貸原価	45	44
その他	70	66
営業外費用合計	273	364
経常利益	8,697	8,746
特別利益		
固定資産売却益	3	4
投資有価証券売却益	153	101
補助金収入	—	35
負ののれん発生益	30	—
その他	—	31
特別利益合計	187	174
特別損失		
固定資産処分損	88	47
減損損失	163	55
店舗閉鎖損失	0	9
災害による損失	—	35
その他	—	9
特別損失合計	252	157
税金等調整前四半期純利益	8,632	8,763
法人税等	2,413	2,880
四半期純利益	6,218	5,882
非支配株主に帰属する四半期純利益	356	263
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,862	5,619

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
四半期純利益	6,218	5,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,127	△2,879
繰延ヘッジ損益	△14	12
為替換算調整勘定	△154	81
退職給付に係る調整額	49	△11
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△3
その他の包括利益合計	10,009	△2,800
四半期包括利益	16,228	3,082
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,843	2,801
非支配株主に係る四半期包括利益	384	280

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)
税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の製造 ・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外食 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	210,087	16,923	5,649	232,661	972	233,633	—	233,633
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,370	38	306	6,715	121	6,836	△6,836	—
計	216,458	16,961	5,956	239,376	1,094	240,470	△6,836	233,633
セグメント利益	7,866	830	359	9,057	96	9,154	△849	8,304

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益の調整額△849百万円には、セグメント間取引消去△27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△821百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の製造 ・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外食 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	228,066	16,255	5,826	250,149	1,022	251,171	—	251,171
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,079	29	294	6,403	148	6,551	△6,551	—
計	234,146	16,285	6,121	256,552	1,171	257,723	△6,551	251,171
セグメント利益	8,015	816	258	9,090	91	9,182	△837	8,345

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益の調整額△837百万円には、セグメント間取引消去△19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△818百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。